

授業科目名	調査研究基礎			担当教員名	別途案内	
科目区分	単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態	
学部共通専門科目	必修	2	1	春学期	金・4	講義
<p>授業概要</p> <p>新入生対象の授業です。大学での学習の仕方は高校までとは大きく変わります。大学では授業の時間割を自分で決め、授業ごとに教室や机を移動しなければなりません。授業も50分ではなく90分です。授業もただ聞いていけばよいのではなく、自分で調べ考えたことを、わかりやすく他の人に伝える「レポート」や、他の学生と協力して行う「発表」もあります。「レポート」や「発表」では、あるテーマについて自分で本を読んだり、それについてよく知っている人に質問したり、直接現場を見学しに行ったりして、自分の考えをまとめ、文章や発表として他人に分かりやすく伝えることが必要です。</p> <p>こうした大学での学習スタイルに慣れてもらうため、この授業では、特に「発表」「質問」のトレーニングを行っていきます。期末の合同発表会では、クラスの仲間と協力して自分たちで調べ、まとめ、「発表」します。そうした作業を通じて、基本的な学習スキルを身につけるとともに、将来の生き方・働き方についても考えを深めてもらうことを期待しています。</p>						
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学における授業や学習のスタイルの違いを理解し、大学生活に円滑に適応できる。 ・自分の特性を理解し、社会人として将来働く目標が立つ。 ・4年間の大学生活や就職活動の土台となる基礎的な国語の読み書き、数学能力が補強される。 ・多人数の前で、適切な資料（文献やインターネット、フィールドワーク、インタビュー）に基づいた発表ができる。 ・他の人の発表を聞いて、適切な質問をすることができる。 						
<p>授業方法(展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数クラスに分かれて、講義と個人演習・グループ演習を組み合わせで展開します。 ・ほぼ毎回基礎学力向上課題を実施し、基礎学力（漢字の読み書き、数学）の向上を図ります。 ・期末に合同発表会としてグループでの発表を実施します。 						
<p>関連科目・知識・スキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生オリエンテーション時に行う「自己発見レポート」 ・1年次春学期の必修科目「情報リテラシー」と「文章読解と表現」と密接な関係があります。これらの科目で学ぶ、Word（文書作成）・Excel（表計算）・PowerPoint（プレゼンテーション）のスキルや、文章力・表現力を、この「調査研究基礎」でのレポートや合同発表会の資料作成・発表で積極的に活用してみてください。双方の科目の理解を深められると思います。 						
<p>成績評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講態度や授業への貢献度（課題提出や合同発表会への取り組み）、適宜実施する基礎学力テストの伸び具合等を踏まえて評価します。※授業回数の2／3以上の出席がない場合は、不可（E判定）となります。 						

教科書・参考書など

・授業時に各担当教員が適宜、指示します。また、以下の図書やウェブの内容も役立ちます。機会を見てぜひ手にとって見てください。

【大学での学習スキルについて】

◎藤田哲也(2006)『大学基礎講座—充実した大学生活をおくるために』(改増版)北大路書房

○学習技術研究会(2006)『知へのステップ—大学生からのスタディ・スキルズ』くろしお出版

○KITIE(Keio Interactive Tutorial on information Education) URL: <http://project.lib.keio.ac.jp/kitie/>

【大学で学ぶ意義について】

◎溝上慎一(2006)『大学生の学び・入門—大学での勉強は役に立つ』有斐閣アルマ

◎河内和子(2005)『自信力が学生を変える—大学生意識調査からの提言』平凡社新書

履修上の注意事項

・基本的なルール(時間を守る、人の話を聞く、課題を提出する等)を必ず守ってください。他の受講者の受講の迷惑になる、授業中の私語、携帯電話の使用は厳禁です。

・**必修科目です。単位を落とすと来年春に新1年生と一緒に再履修しなければなりませんし、単位を取れない限り卒業もできません。**気を引き締めて課題に取り組んでください。

授業の柱(単元)と授業スケジュール

※ほぼ毎回(10講程度)、15分程度、読み書き・計算、一般常識などの基礎学力の確認・補強のための演習を行います。

※なお、以下の実施内容・期間は目安であり、クラスにより授業方法やスケジュールは若干異なります。

1. 大学生活への円滑な移行(4月)

1) アイスブレイキング(第1講:4/16)

自己紹介・他己紹介・ルーキージャム体験紹介など。授業の進め方についても説明を実施する。

2) 「自己発見レポート」結果報告書の返却と WORK の取り組み(クラス単位で実施)(4/23-30)

大学生活だけではなく就職などについても早い段階で考える機会を持つために、自己発見シートを活用して自分の方向性や特性を明確にする。

2. 「発表」と「質問」の基礎トレーニング(5月)

身近なテーマを題材に「話す」「聞く」「質問する」訓練を行う。

*発表スキルの習得:

声の出し方、姿勢のあり方、時間配分、わかりやすい説明の仕方、発表原稿の作り方などを学ぶ。

*傾聴スキル・質問スキルの習得:

3. 合同発表会での発表にむけた準備(6月~7月)

1) 発表テーマを設定し、情報収集を行う

クラス毎に自由にテーマを設定し、文献・インターネットでの情報収集、インタビューや見学などを実施し、必要な情報を集める。

*図書館やインターネットでの情報収集スキルの習得

大学での授業や研究には情報収集力が不可欠であり、その基礎的方法である図書やインターネットの利用法、および著作権など関連法規についても学ぶ。

***インタビューの実施**

現場のリアルタイムな情報を収集する手段としてインタビューがある。基礎知識を習得し、実際にインタビューを実施し経験を積む。※学外ゲスト講師を招聘し、お話を伺う場合もある。

***フィールドワークや見学の実施**

テーマの調査に必要な場合は、フィールドワークや見学を行う場合がある。登録人数×2500円まで学外教育補助あり。

2) 資料作成の実施

*レポートの作成: 大学での授業で必要になるレポートの基本形式を学び、調査した内容をまとめる。

*パワーポイント発表資料の作成 : 合同発表会の実施に向けて、事前に練習を行う。

3) 合同発表会の実施 (全体集合形式) (第14講: 7/16)

4. 振り返りと授業アンケート・基礎学力確認テスト (第15講: 7/23)

1学期間の取り組みと合同発表会を振り返り、授業アンケート、確認テストを実施する。

学生への一言

・皆さんが積極的に取り組みれば取り組むほど、この授業の成果は大きくなります。積極的に取り組んでくれることを期待しています。また、調査研究基礎の担当教員は、クラス担任として皆さんの学習・大学生活をサポートします。何か困ったことがあったら、遠慮なく相談してください。